

## R2 年度 北区地域包括ケアシステム推進会議報告（書面開催意見集約）

## 議事 1 新型コロナウイルス感染症に対応した介護予防に関する広報強化・きっかけづくりの状況について

・確かにテレビ・ラジオ等を利用した広報活動は全体としては必要かもしれないが、どれだけの効果が出ているのか疑問などところがあるのでは。それより地域にある「まちづくりセンター」「ささえりあ」を中心に各校区自治協議会や校区社協、民児協を活用して、広報活動を行った方が効果があると思う。

・人と人の繋がりが非常に重要な地域包括ケアにおいて、今回の新型コロナウイルスは大きな阻害因子になっています。そんな中様々なメディア、広報手段をフル活用しての企画に感心いたします。閉じこもりの方々は、情報難民というか、自らも情報を閉ざしている方もいらっしゃるので、コロナ禍ではアプローチが難しいですね。取り組みの効果判定がランダムなサンプル調査でも良いので、出来たらよいと思う。

## 議事 2 各高齢者支援センターささえりあにおける新型コロナウイルス感染症に対応した取組について

・感染症拡大防止・新型コロナウイルス感染に負けるな自助力アップ 10 か条のポスターを作成し、公民館、コミセンに掲示した。

・介護予防講座 3 回シリーズ（11/22、11/29、12/8）を開催中。介護予防サポーターの養成、体操を学ぶ機会を提供。北区管内ささえりあへも周知。

その他、新型コロナウイルス感染症に対応して、ご自身またはご所属の団体で既に取り組まれていることや今後協力できる取組・提案がございましたらご記入ください。

・訪問看護ステーション連絡協議会においては、もしコロナ感染で事業所が休止する場合、近隣の他のステーションで応援できる体制整備を行っている（ペアステーションの活用、利用者のカードやケア手順等の作成）

・介護支援専門員協会として定期的に開催していた研修が、現状の形式では開催が難しくオンライン化での開催を準備している。他団体の活動方法内容について共有できる場があれば有難い。

・「くまもと元気くらぶ」に登録して活動している「健康クラブ」で今度のコロナで3月から活動停止、会員30名から活動再開の要望があり、全員にアンケートを取り、再開要望が強く、再開するにあたり、会場が密になる為、2部に分かれて実施するようにしている。

・県栄養士会としての食育活動等が行えていない現状である。個人的には、地域包括支援センターと協力して地域の高齢者の「食・栄養改善」に取り組んでいきたいと思っている。

・楠民児協では、楠民児協だよりを作成し、高齢者の一人暮らしの方にポスティングで配布しました。内容は、GO TOキャンペーンで出かける際は、十分感染対策に気を付けること、インフルエンザの予防接種の勧め、ささえりあより資料を提供していただき、毎日の生活行為で歩数を増やす事やつま先立ち 4分の1スクワットを紹介した。

### 議事3 第8期熊本市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（はつらつプラン）骨子案について

・高齢者だけでなく、8040問題、障がい認定がされていないけど社会に溶け込めない方が、マルチで話を聞いてくれる場所が必要であり、拠点を多く設置して頂きたい。

### 議事4 北区における地域包括ケアシステム推進の動き（R2年度）について

・地域包括ケアシステムとして考えた場合に、障老、老障、高齢者と障がい者の世帯で、支援に繋がっていないケースもあるため、令和3年度の計画の中に、できれば障がい分野、児童分野も含めた討議となる事を期待している。